

平成 25 年 9 月 10 日 00135 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【事務局情報】北見市武道館進捗状況:国際規格(1m.×2m.)の畳が入りました!

9月3日に、柔道場・合気武道場となる「道場1」に国際規格柔道畳 238 畳が搬入、敷き詰められました。試合場内 8 メートル四方、場外部分は 4 メートルで、2 試合場の黄色畳間隔は 5 メートルで広い空間が印象的です。

「道場1」は、試合場と通路(約 3m.幅)を含め、632 平方メートルが設備されており、北海道内では初めての国際規格柔道畳「栄光 A」(SHIMODA MAT)が、板の間(通路)との段差なく敷き詰められています。衝撃吸収の床下鋼製材に加え、高密度圧縮発泡体を芯材に使用した畳で、VOC(揮発性有機化合物)検査にも合格しています。「VOC」とは建材の接着剤や塗料に含まれる「シックハウス症候群」等



の発病原因となるホルムアルデヒド等の物質を指します。市では VOC 検査を即刻行い、無事クリアしました。

共同協議会・第2回北見市総合武道祭実行委員会開催

先週 9 月 5 日(木)、北見市役所桜町仮庁舎にて 19:00 より、北見市武道館落成記念事業合同協議会・第2回北見市総合武道祭実行委員会が行われました。この度は、委員会に加え北見市武道振興協議会・NPO 法人北見市武道振興協会の3者による合同会議となりましたが当日におけるタイムスケジュールをはじめ、演武内容の確認調整が進められ、第3回実行委員会が今月 9 月 26 日(木)に開催されることも同時に決定いたしました。会場は「北見市武道館」を予定されています。



連載 中国「老子」の思想 十九章 作為を捨てよ

才能などというものを重視しさえしなければ*、競争はなくなり、人民は安らかに生きられる。道徳などというものを強制しなければ、心を偽る必要がなくなり、人民は自然の情愛に立ち返る。

商工業などというものを廃しさえすれば、欲望をそそのものがなくなり、人民は盗みをしなくなる。

才能、道徳、商工業の三者は、いずれも作為であって自然に反する。すべて取るに足りない。

治世の根本は、人民の本性を回復することにある。すなわち、無心にさせ、私欲をなくさせることである。

原文:絶聖棄智、民利百倍。絕仁棄義、民復孝慈。絶巧棄利、盜賊無有。此三者、以爲文不足。故令有所屬。見素抱樸、少私寡欲。二十章に続く

〈才能などというものを…〉原文「絶聖棄智」。ここでの「聖」とは、傑出した智のことで、聖人の意味ではない。

絶聖棄智 いっさいの作為をすてる、それは、「絶つ」(原文)ということばで表現されるきわめて意志的な行為であった。この意志的な行為の主体となるのは、有道者、エリートに限られる。一般人民は、その結果、「私が少なく欲が寡く」(原文)なり、自然に本性を回復するというのである。